

# 国内外の原子力動向と注目すべきポイント

## ～エネルギーを巡る情勢と今後の原子力役割・展望～

— 講 師 —

(一財)日本エネルギー経済研究所 電力ユニット 原子力グループ 兼  
研究戦略ユニット 研究戦略グループ 主任研究員 木村 謙仁 氏

日 時 2026 年 4 月 3 日 (金) 午後 1 時～ 3 時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)  
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

### [重点講義内容]

原子力をめぐっては近年、地球温暖化対策やエネルギー安全保障の観点から、さらに直近では AI 利用やデータセンターの拡大による電力需要増への対応から、その役割が指摘される状況となっている。

こうした状況の下、原子力利用国では新たな動きが相次いで見られる。米国では IT 企業による原子力への投資が活発化しており、欧州では新設プロジェクトの実現可能性向上に向けた施策が進められている。日本においても原子力の役割が改めて明確化されたほか、具体的な制度措置をめぐる議論も少しずつ進みつつある。

本講義ではこうした動きを俯瞰し、今後注目すべき動きを整理する。

1. 世界情勢と原子力
2. 諸外国の動向
3. 新型炉開発動向
4. 国内動向と課題
5. 2026 年以降の注目すべきポイント
6. 質疑応答／名刺交換

### PROFILE 木村 謙仁(きむら けんじ)氏

2015 年 3 月、東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻博士課程修了。同年 4 月、(一財)日本エネルギー経済研究所入所。入所してからは新エネルギーグループ研究員として、各国の再生可能エネルギーや水素などの動向調査に従事。2018 年より原子力グループ(戦略研究ユニット)にて、主に国内外の原子力政策動向調査に従事。2023 年より現所属。

